

APPENDIX2 :

日本の国内調査の調査票とデータ分析結果（表）の一覧

日本国内調査の調査票とデータ分析結果一覧

堀田泰司

1 日本国内調査の調査票

以下が今回の国内アンケート調査に使用された調査票である。

21 年度先導的大学改革推進委託事業 「ACTS (ASEAN Credit Transfer System) と各国の単位互換に関する調査研究」 日本国内調査票

この度は、本アンケート調査にご協力くださり誠にありがとうございます。本調査では、貴大学がご回答くださった情報は、全て無記名でサンプル全体の傾向について分析するか、特記すべき事例としては、「A大学」等の表記によって報告書の中で明記することだけに使用しますので、大学名は、一般に公開される報告書には、掲載されません。しかし、大学名も記載されている元のデータは、委託研究発注元である文部科学省に提出いたします。何卒、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

尚、本アンケート調査への回答は、この書面と同様の Word 2003 年版ファイルをメールにて、貴大学へ送付しますので、可能な限り、そのファイルに入力して頂き、メールにて 3 月 25 日（木）までに以下のアドレスへご返送いただければ幸いです。

ACTS_広島大学<acts.hiroshima@gmail.com>

また、メールによる返送が難しい場合は、恐れ入りますが、以下の番号へファックスで書類を送信していただければ幸いです。

ファックス番号：082-424-6284（堀田研究室直通）

教育機関の基本情報：

大学名： _____
記入担当者名： _____
所属部課名： _____
メールアドレス： _____
電話番号： _____

1. 貴大学では、全学的にシラバスを1つのフォーマットで作成していますか。

はい

いいえ

[記載項目]「はい」の場合は、その記載項目について以下の選択肢から該当するものは全て○で囲んでください。科目名や教員氏名等基本的な情報に加え、どのような情報を記載していますか。

また、「いいえ」の場合は、貴大学で担当教員の先生方が書かれているシラバスの内容には一般的にどのような項目が多く見られますか。該当するものは全て○で囲んでください。

- ①科目のコース番号(使用している場合) ②授業の概要 ③達成目標 ④単位数
⑤単位数に準じた学習時間数の情報[*] ⑥成績評価の方法と基準 ⑦課題に関する説明
⑧各週の授業内容(講義内容、課題や小テスト) ⑨中間試験、期末試験等の情報

[*⑤は例えば、講義の時間数に加え、課題やレポートの作成、そして予習・復習にかかる時間数等の明記]

その他:

2. シラバスはインターネット上で閲覧できますか。

はい いいえ

3. 閲覧できる場合、それは、学内関係者だけでなく、一般に公開されていますか。

はい いいえ

4. もしシラバスに達成目標が項目として入っている場合、どのような内容が多く書かれていますか。たとえば、専門分野の知識についてですか。または、分析能力や発表能力等、スキルに関する目標も書かれていますか。また達成目標として書く内容について全学的な共通のフォーマットがありますか。

5. 貴大学においては、単位数の設定に関する全学的な方針を有していますか(学習量、学習レベル、提供科目との共通性、教育課程レベル(学士、修士、博士課程)の別に応じたルール等)。大学設置基準では、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。貴大学では、インターンシップや、フィールドワーク等に関しては、どのような基準で単位数を設定していますか。例えばインターンシップでは、就労時間数45時間で1単位として認めていますか。それとも一般的な週40時間の就労時間+若干の教育指導で1単位と認めていますか。全学的な方針や傾向等をお書きください。

6. 貴大学における、標準的な1科目の単位数は、何単位ですか。また、それ以外にもどのような単位数がありますか。それは、どうしてですか。例えば、授業のタイプ(外国語教育やインターンシップ、外国語による国際カリキュラム等)によって異なりますか。また、教育課程レベル(学士、修士、博士課程)や学部・専攻分野によって、何か特徴がありますか。できるだけいろいろなタイプの科目とその単位数についてご説明ください。

7. 日本の修士課程や博士課程では、特にコースワークの単位数が海外に比べ少なく、また、修士論文等に対しても単位数が少ないことが多いとの指摘もみられますが、そのような状況に対し、何か対策を取られていますか。外国語による国際カリキュラムや海外の大学との交流を意識して、特に修士論文等の作成に関係した授業科目の単位数の設定について、何か工夫されていることがありましたらお答えください。また、今後の対策等についてもお書きください。

8. 貴大学においては、1コマの授業時間数を何分で設定されていますか。また、1コマの授業時間数が通常と異なる授業科目がありますか。その場合は実施形態等に何か特徴（週に複数回の講義等）がありますか。

9. 外国では、成績評価の方法として、相対的評価（統計的な分布表に基づいた成績の配分）を取り入れている教育機関が多いとの指摘もみられますが、貴大学では成績評価について全学的な方針を定めていますか（絶対評価・相対評価の別や、特定の成績（「優」、「良」等）の割合の上限、それらの方針に対する除外科目の設定等）。今後の計画等も含めお書きください（定めていない場合は、貴大学における成績評価の傾向について、把握できる範囲でお答えください）。

10. 貴大学において、計画的な履修方針に基づく授業科目名やコースナンバリングの設定など、教育課程の体系化に向けた取組を実施している場合、具体的な取組内容について記載してください。

11. 貴大学において、単位互換の認定について大学全体が共有する規定が何かありますか。ある場合は、どのような規定ですか。具体的にご説明ください。特に欧州における ECTS や UMAP における UCTS 等、国際的な単位互換にかかる枠組みを活用する場合における規定を設けている場合は、詳細に記載してください。

（例、単位を読み替える場合、科目の内容が XX% 以上同様のものでないと互換しないとか、単位認定を申請している学生のその履修科目の成績が「B」以上でないと認定しない等。）

12. 貴大学が開講していない分野・テーマの科目を派遣学生が交換留学を通して履修し単位を取得した場合、その科目の単位互換を可能にするシステムがありますか。その際に教育課程の体系性をどのように確保しているのかも含め状況をご説明ください。

13. 派遣学生が帰国後、単位互換を申請した場合、成績の換算方法について、何か全学的な基準または、学内での了解事項等があればご説明ください。全学的な基準等がない場合は、各学部等において定められている主な基準をご説明ください。

14. 交換留学等を通して海外で取得した単位を互換する場合、大学設置基準に基づく上限（学士課程では60単位、修士・博士課程ではそれぞれ10単位）に加えて、貴大学として独自の上限規定を設けていますか。また、どのような基準または理由でその上限規定を設けていますか。

（例えば、授業のタイプ（実験・演習、外国語教育やインターンシップ、外国語による国際カリキュラム等）によって異なりますか。また、教育課程レベル（学士、修士、博士課程）や学部・専攻分野によって、単位互換の制限について何か特徴がありますか。できるだけいろいろなタイプの状況についてご説明ください。

15. この他、貴大学における単位互換に関する課題がありましたら、自由にお書き下さい。

16. 貴大学では海外の大学と連携した国際カリキュラムがありますか。（例、協定大学の教員と共同で開発した授業や共同で教えている授業等。ただし海外で開講される科目は除く）そうしたカリキュラムは、どのように開発し、どのように教えているか内容をご説明ください。

17. 貴大学ではインターネット上でどのような教育内容、制度等について英語で対外的に情報を発信していますか。該当するものは全て○で囲んでください。

- ① 学位取得を目的とした留学生の受け入れに関する入学案内(大学の概要、申請手続き、選考方法等)
- ② 交換留学を目的とした留学生の受け入れに関する手続きの案内
- ③ 主に留学生だけを対象とした国際カリキュラム（*外国語による講義科目）に関するコースカタログ（便覧）
- ④ 主に留学生だけを対象とした国際カリキュラム（*）のシラバス
- ⑤ 日本人学生と留学生の両方を対象とした国際カリキュラム（*）に関するコースカタログ（便覧）
- ⑥ 日本人学生と留学生の両方を対象とした国際カリキュラム（*）のシラバス
- ⑦ 日本語で開講されている授業科目のコースカタログ（便覧）
- ⑧ 日本語で開講されている授業科目のシラバス

- ⑨ 単位制度に関する換算方法と基準についての説明
- ⑩ 単位の設定に関する方針・基準
- ⑪ 単位数に準じた学習時間数（例えば、授業時間数に加え宿題やレポートの作成、予習等にかかる時間数）に関する情報

以上

~~~~~ご協力、誠にありがとうございます~~~~~

尚、本アンケート調査に関するお問い合わせは、以下のところへご連絡ください。

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1  
 広島大学留学生センター 堀田泰司（准教授）  
 Tel/Fax: 082-424-6284  
 e-mail: hotta@hiroshima-u.ac.jp

## 2 データ分析結果一覧

### (1) 単位制度について

表1 単位数認定の全学的な方針の有無 (Q5<sup>1</sup>)

|     |         | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|---------|----|-------|---------|
| 有効  | 独自の方針有り | 25 | 25.3  | 31.6    |
|     | 設置基準を順守 | 43 | 43.4  | 54.4    |
|     | 無し      | 11 | 11.1  | 13.9    |
|     | 合計      | 79 | 79.8  | 100.0   |
| 欠損値 |         | 20 | 20.2  |         |
| 合計  |         | 99 | 100.0 |         |

表2 科目の標準的な単位数 [99大学の複数回答] (Q6)

| 単位数 | 度数  | 有効パーセント |
|-----|-----|---------|
| 2   | 89  | 71.8    |
| 1   | 17  | 13.7    |
| 4   | 16  | 12.9    |
| 3   | 1   | 0.8     |
| 1.5 | 1   | 0.8     |
| 合計  | 124 | 100.0   |

表3 インターンシップ・フィールドワークの標準・または、最低単位数 (Q5)

| 単位数 |          | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|----------|----|-------|---------|
| 有効  | 1        | 31 | 31.3  | 41.9    |
|     | 2        | 24 | 24.2  | 32.4    |
|     | 4        | 2  | 2.0   | 2.7     |
|     | 規定なし     | 8  | 8.1   | 10.8    |
|     | 認定していない  | 3  | 3.0   | 4.1     |
|     | 学部ごとに異なる | 5  | 5.1   | 6.8     |
|     | 実習と同じ換算  | 1  | 1.0   | 1.4     |
|     | 合計       | 74 | 74.7  | 100.0   |
| 欠損値 |          | 25 | 25.3  |         |
| 合計  |          | 99 | 100.0 |         |

表4 インターンシップ・フィールドワークの最大単位数 (Q5)

| 単位数 |    | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|----|----|-------|---------|
| 有効  | 2  | 5  | 5.1   | 55.6    |
|     | 4  | 1  | 1.0   | 11.1    |
|     | 8  | 2  | 2.0   | 22.2    |
|     | 16 | 1  | 1.0   | 11.1    |
|     | 合計 | 9  | 9.1   | 100.0   |
| 欠損値 |    | 90 | 90.9  |         |
| 合計  |    | 99 | 100.0 |         |

注) 報告書の本文では、これに関する図は記載されていない

表5 卒業論文・演習科目標準・最低単位数 (Q6)

| 単位数      | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|----------|----|-------|---------|
| 4        | 7  | 7.1   | 29.2    |
| 6        | 5  | 5.1   | 20.8    |
| 1        | 2  | 2.0   | 8.3     |
| 8        | 2  | 2.0   | 8.3     |
| 10       | 2  | 2.0   | 8.3     |
| 2        | 1  | 1.0   | 4.2     |
| 3        | 1  | 1.0   | 4.2     |
| 5        | 1  | 1.0   | 4.2     |
| 学部ごとに異なる | 3  | 3.0   | 12.5    |
| 合計       | 23 | 23.2  | 100.0   |
| 欠損値      | 75 | 75.8  |         |
|          |    | 100.0 |         |

表6 卒業論文・演習科目最大単位数 (Q6)

|     | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|----|-------|---------|
| 有効  | 4  | 1     | 16.7    |
|     | 8  | 3     | 50.0    |
|     | 12 | 1     | 16.7    |
|     | 16 | 1     | 16.7    |
|     | 合計 | 6     | 6.1     |
| 欠損値 | 93 | 93.9  |         |
| 合計  | 99 | 100.0 |         |

注) 報告書の本文では、これに関する図は記載されていない

表7 その他の単位数(99大学の複数回答) (Q6)

| 単位数 | 度数 | 有効パーセント | 単位数 | 度数  | 有効パーセント |
|-----|----|---------|-----|-----|---------|
| 1   | 57 | 37.5    | 0.5 | 3   | 2.0     |
| 4   | 28 | 18.4    | 1.5 | 3   | 2.0     |
| 3   | 22 | 14.5    | 2.5 | 2   | 1.3     |
| 8   | 10 | 6.6     | 3.5 | 1   | 0.7     |
| 6   | 9  | 5.9     | 10  | 1   | 0.7     |
| 2   | 6  | 3.9     | 12  | 1   | 0.7     |
| 5   | 4  | 2.6     | 15  | 1   | 0.7     |
| 7   | 4  | 2.6     | 合計  | 152 | 100     |

表8 1コマの一般的な時間数(Q8)

|     | 度数  | パーセント | 有効パーセント |
|-----|-----|-------|---------|
| 有効  | 90分 | 95    | 96.9    |
|     | 45分 | 1     | 1.0     |
|     | 70分 | 1     | 1.0     |
|     | 75分 | 1     | 1.0     |
|     | 合計  | 98    | 99.0    |
| 欠損値 | 1   | 1.0   |         |
| 合計  | 99  | 100.0 |         |

表9 インターンシップ・フィールドワークの標準・または、最低時間数(Q5)

| 時間数 | 度数   | パーセント | 有効パーセント |
|-----|------|-------|---------|
| 有効  | 40   | 20    | 33.9    |
|     | 80   | 13    | 22.0    |
|     | 45   | 6     | 10.2    |
|     | 30   | 5     | 8.5     |
|     | 60   | 2     | 3.4     |
|     | 56   | 1     | 1.7     |
|     | 75   | 1     | 1.7     |
|     | 規定なし | 11    | 18.6    |
|     | 合計   | 59    | 59.6    |
| 欠損値 | 40   | 40.4  |         |
| 合計  | 99   | 100.0 |         |



表10 インターンシップ・フィールドワークの最長時間数(Q5)

| 時間数 | 度数  | パーセント | 有効パーセント |
|-----|-----|-------|---------|
| 有効  | 45  | 1     | 9.1     |
|     | 60  | 1     | 9.1     |
|     | 80  | 3     | 27.3    |
|     | 90  | 1     | 9.1     |
|     | 120 | 2     | 18.2    |
|     | 200 | 1     | 9.1     |
|     | 240 | 1     | 9.1     |
|     | 360 | 1     | 9.1     |
|     | 合計  | 11    | 11.1    |
| 欠損値 |     | 88    | 88.9    |
| 合計  | 99  | 100.0 |         |

表11 インターンシップ・フィールドワークの標準・最低単位数 x 標準・最低時間数 のクロス表

|                            |     | インターンシップ・フィールドワークの標準・最低時間数 |      |      |      |      |      | 合計 |      |
|----------------------------|-----|----------------------------|------|------|------|------|------|----|------|
|                            |     | 30.0                       | 40.0 | 45.0 | 56.0 | 60.0 | 75.0 |    | 80.0 |
| インターンシップ・フィールドワークの標準・最低単位数 | 1.0 | 4                          | 14   | 6    | 0    | 0    | 0    | 0  | 24   |
|                            | 2.0 | 1                          | 5    | 0    | 1    | 2    | 1    | 10 | 20   |
|                            | 4.0 | 0                          | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 2  | 2    |
| 合計                         |     | 5                          | 19   | 6    | 1    | 2    | 1    | 12 | 46   |

注) 本文でも同様の表が記載されている

## (2) 成績評価制度について

表12 成績評価の全学的な方針の有無 (Q9)

|     |    | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|----|----|-------|---------|
| 有効  | 有  | 19 | 19.2  | 20.7    |
|     | 無  | 73 | 73.7  | 79.3    |
|     | 合計 | 92 | 92.9  | 100.0   |
| 欠損値 |    | 7  | 7.1   |         |
| 合計  |    | 99 | 100.0 |         |

表13 大学のタイプ(国公立別) \* 成績評価の全学的な方針の有無 (Q9)

|        |    | 成績評価の全学的な方針の有無 |            | 合計        |
|--------|----|----------------|------------|-----------|
|        |    | 無              | 有          |           |
| 大学のタイプ | 国立 | 22 (64.7%)     | 12 (35.3%) | 34 (100%) |
|        | 公立 | 7 (87.5%)      | 1 (12.5%)  | 8 (100%)  |
|        | 私立 | 44 (88.0%)     | 6 (12.0%)  | 50 (100%) |
| 合計     |    | 73 (79.3%)     | 19 (20.7%) | 92 (100%) |

表14 相対的評価の使用の有無 (Q9)

|     |   | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|---|----|-------|---------|
| 有効  | 有 | 6  | 6.1   | 6.2     |
|     | 無 | 91 | 91.9  | 93.8    |
| 合計  |   | 97 | 98.0  | 100.0   |
| 欠損値 |   | 2  | 2.0   |         |
| 合計  |   | 99 | 100.0 |         |

表15 大学のタイプ(国公立別) \* 相対的評価の使用の有無 (Q9)

|        |    | 相対的評価の使用有無 |          | 合計        |
|--------|----|------------|----------|-----------|
|        |    | 無          | 有        |           |
| 大学のタイプ | 国立 | 30 (93.8%) | 2 (6.3%) | 32 (100%) |
|        | 公立 | 8 (100%)   | 0 (0%)   | 8 (100%)  |
|        | 私立 | 53 (93.0%) | 4 (7%)   | 57 (100%) |
| 合計     |    | 91 (93.8%) | 6 (6.2%) | 97 (100%) |

(3) 学生交流における単位・成績互換について

表16 海外からの単位互換の独自の基準の有無 [学士課程] (Q14)

|     |            | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|------------|----|-------|---------|
| 有効  | 独自の基準有り    | 79 | 79.8  | 84.9    |
|     | 設置基準に準じている | 14 | 14.1  | 15.1    |
| 合計  |            | 93 | 93.9  | 100.0   |
| 欠損値 |            | 6  | 6.1   |         |
| 合計  |            | 99 | 100.0 |         |

表17 海外からの単位互換の独自の基準の有無 [博士課程前・後期] (Q14)

|     |            | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|------------|----|-------|---------|
| 有効  | 独自の基準有り    | 76 | 76.8  | 98.7    |
|     | 設置基準に準じている | 1  | 1.0   | 1.3     |
| 合計  |            | 77 | 77.8  | 100.0   |
| 欠損値 |            | 22 | 22.2  |         |
| 合計  |            | 99 | 100.0 |         |

表18 単位数の国際標準への調整の有無 [博士課程前・後期] (Q7)

|     |    | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|----|----|-------|---------|
| 有効  | 有  | 27 | 27.3  | 34.2    |
|     | 無  | 52 | 52.5  | 65.8    |
|     | 合計 | 79 | 79.8  | 100.0   |
| 欠損値 |    | 20 | 20.2  |         |
| 合計  |    | 99 | 100.0 |         |

表19 学生交流の単位互換に関する全学的な規定の有無(Q11)

|     |    | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|----|----|-------|---------|
| 有効  | 有  | 25 | 25.3  | 27.2    |
|     | 無  | 67 | 67.7  | 72.8    |
|     | 合計 | 92 | 92.9  | 100.0   |
| 欠損値 |    | 7  | 7.1   |         |
| 合計  |    | 99 | 100.0 |         |

表20 国内の大学との単位互換の認定に関する規定の有無(Q11)

|     |    | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|----|----|-------|---------|
| 有効  | 有  | 21 | 21.2  | 25.3    |
|     | 無  | 62 | 62.6  | 74.7    |
|     | 合計 | 83 | 83.8  | 100.0   |
| 欠損値 |    | 16 | 16.2  |         |
| 合計  |    | 99 | 100.0 |         |

表21 読み替えのできない海外の科目の認定システムの有無(Q12)

|     |      | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|------|----|-------|---------|
| 有効  | 有    | 37 | 37.4  | 38.9    |
|     | 無    | 43 | 43.4  | 45.3    |
|     | 個別審議 | 15 | 15.2  | 15.8    |
|     | 合計   | 95 | 96.0  | 100.0   |
| 欠損値 |      | 4  | 4.0   |         |
| 合計  |      | 99 | 100.0 |         |

表22 単位互換に関する課題(99大学による複数回答合計)(Q15)

|                           | 度数 | 有効パーセント |
|---------------------------|----|---------|
| 学内単位認定に関する整備の遅れ           | 18 | 50.0    |
| 成績標語の違い                   | 3  | 8.3     |
| 開講されていない科目の認証             | 3  | 8.3     |
| 単位当たりの時間数の違い              | 3  | 8.3     |
| 利用する学生が少ない                | 2  | 5.6     |
| 多大学間交流での整備の遅れ             | 2  | 5.6     |
| 提携校の拡大                    | 1  | 2.8     |
| 評価基準の違い                   | 1  | 2.8     |
| 協定のない大学の単位認定が困難           | 1  | 2.8     |
| ECTSやポイント制等の新たな制度への対応の難しさ | 1  | 2.8     |
| 実習、実験の単位認定が困難             | 1  | 2.8     |
| 合計                        | 36 | 100.0   |

注) 本文でも同様の表が記載されている

表23(Q13) 海外の大学で得た成績評価の全学的な認定方法の有無

|     |                                  | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|----------------------------------|----|-------|---------|
| 有効  | 有                                | 9  | 9.1   | 10.7    |
|     | 無                                | 31 | 31.3  | 36.9    |
|     | 合格か不合格の判定のみ                      | 22 | 22.2  | 26.2    |
|     | その都度審議する                         | 12 | 12.1  | 14.3    |
|     | 協定大学の成績評価に準ずる                    | 8  | 8.1   | 9.5     |
|     | 協定大学の成績評価に準じて認定か、<br>合格か不合格の判定のみ | 2  | 2.0   | 2.4     |
|     | 合計                               | 84 | 84.8  | 100.0   |
| 欠損値 |                                  | 15 | 15.2  |         |
| 合計  |                                  | 99 | 100.0 |         |

注) 本文でも同様の表が記載されている

表24 協定大学と連携した国際カリキュラムの有無(Q16)

|     | 度数 | 有効パーセント |
|-----|----|---------|
| 有   | 22 | 22.2    |
| 無   | 76 | 76.8    |
| 検討中 | 1  | 1.0     |
| 合計  | 99 | 100.0   |

表25 国際カリキュラムのために連携している協定校数(Q16)

|     |    | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|----|----|-------|---------|
| 有効  | 1  | 8  | 8.1   | 61.5    |
|     | 2  | 4  | 4.0   | 30.8    |
|     | 4  | 1  | 1.0   | 7.7     |
|     | 合計 | 13 | 13.1  | 100.0   |
| 欠損値 |    | 86 | 86.9  |         |
| 合計  |    | 99 | 100.0 |         |

表26(Q16-3) 国際カリキュラムのために連携している協定校の国名

|         | 度数 | 有効パーセント |
|---------|----|---------|
| アメリカ    | 3  | 17.6    |
| 中国      | 3  | 17.6    |
| フランス    | 2  | 11.8    |
| インドネシア  | 2  | 11.8    |
| オーストラリア | 1  | 5.9     |
| メキシコ    | 1  | 5.9     |
| 台湾      | 1  | 5.9     |
| フィンランド  | 1  | 5.9     |
| イギリス    | 1  | 5.9     |
| スイス     | 1  | 5.9     |
| タイ      | 1  | 5.9     |
| 合計      | 13 | 100.0   |

注) 本文でも同様の表が記載されている

#### 4 教育内容の体系化と可視化（Transparency）について

表27 教育課程の体系化に向けた取り組みの有無（Q10）

|     |    | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|----|----|-------|---------|
| 有効  | 有  | 52 | 52.5  | 53.1    |
|     | 無  | 46 | 46.5  | 46.9    |
|     | 合計 | 98 | 99.0  | 100.0   |
| 欠損値 |    | 1  | 1.0   |         |
| 合計  |    | 99 | 100.0 |         |

表28 コースナンバリングの有無（Q10）

|     |      | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|------|----|-------|---------|
| 有効  | 有    | 18 | 18.2  | 20.2    |
|     | 無    | 61 | 61.6  | 68.5    |
|     | 導入予定 | 2  | 2.0   | 2.2     |
|     | 検討中  | 8  | 8.1   | 9.0     |
|     | 合計   | 89 | 89.9  | 100.0   |
| 欠損値 |      | 10 | 10.1  |         |
| 合計  |      | 99 | 100.0 |         |

表29 シラバスの全学統一の有無（Q1）

|     |       | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|-------|----|-------|---------|
| 有効  | はい    | 83 | 83.8  | 85.6    |
|     | いいえ   | 12 | 12.1  | 12.4    |
|     | 統一を奨励 | 2  | 2.0   | 2.1     |
|     | 合計    | 97 | 98.0  | 100.0   |
| 欠損値 |       | 2  | 2.0   |         |
| 合計  |       | 99 | 100.0 |         |

表30 シラバスに記載している項目（Q1）

| シラバス記載項目      | 記載されている      | 記載されていない   |
|---------------|--------------|------------|
| 1. 科目のコース番号   | 28校(28.3%**) | 71校(71.7%) |
| 2. 授業の概要      | 97校(98%)     | 2校(2%)     |
| 3. 達成目標       | 83校(83.8%)   | 16校(16.2%) |
| 4. 単位数        | 91校(91.9%)   | 8校(8.1%)   |
| 5. 学習時間数の情報   | 8校(8.1%)     | 91校(91.9%) |
| 6. 成績評価の方法と基準 | 97校(98%)     | 2校(2%)     |
| 7. 課題に関する説明   | 13校(13.1%)   | 86校(86.9%) |
| 8. 各週の授業内容*** | 91校(92.9%)   | 7校(7.1%)   |
| 9. 各試験等の情報    | 49校(49.5%)   | 50校(50.5%) |

\*有効回答数 99 大学(100%)

\*\* 表全体のカッコ内のパーセントは、回答をくれた 99 大学数の内のそれぞれの項目に回答した大学数の割合を示している。

\*\*\*項目 8 だけは、有効回答数が 98 大学であった。

表31 シラバスはインターネット上での閲覧が可能か (Q2)

|     |       | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|-------|----|-------|---------|
| 有効  | はい    | 86 | 86.9  | 87.8    |
|     | いいえ   | 8  | 8.1   | 8.2     |
|     | 部局による | 4  | 4.0   | 4.1     |
|     | 合計    | 98 | 99.0  | 100.0   |
| 欠損値 |       | 1  | 1.0   |         |
| 合計  |       | 99 | 100.0 |         |

表32 ネット上で一般公開されているか (Q3)

|     |         | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|---------|----|-------|---------|
| 有効  | はい      | 78 | 78.8  | 86.7    |
|     | いいえ     | 5  | 5.1   | 5.6     |
|     | 部局による   | 4  | 4.0   | 4.4     |
|     | 今後、公開予定 | 1  | 1.0   | 1.1     |
|     | 条件付きで公開 | 2  | 2.0   | 2.2     |
|     | 合計      | 90 | 90.9  | 100.0   |
| 欠損値 |         | 9  | 9.1   |         |
| 合計  |         | 99 | 100.0 |         |

表33 達成目標の全学的な共通フォーマットの有無 (Q4)

|     |    | 度数 | パーセント | 有効パーセント |
|-----|----|----|-------|---------|
| 有効  | 有  | 14 | 14.1  | 22.6    |
|     | 無  | 48 | 48.5  | 77.4    |
|     | 合計 | 62 | 62.6  | 100.0   |
| 欠損値 |    | 37 | 37.4  |         |
| 合計  |    | 99 | 100.0 |         |

表34 ネット上で英語でどれだけ情報が一般公開されているか (Q17)

| シラバス記載項目                          | 公開されている    | 公開されていない   | その他                                              |
|-----------------------------------|------------|------------|--------------------------------------------------|
| 1. 学位取得目的の留学生への入学案内               | 57校(58.2%) | 40校(40.8)  | 1校(1.0) <sup>(1)</sup>                           |
| 2. 交換留学生への受け入れの手続きの案内             | 39校(39.8%) | 58校(59.2)  | 1校(1.0) <sup>(1)</sup>                           |
| 3. 留学生対象の国際カリキュラムのコースカタログ         | 20校(20.4%) | 77校(78.6%) | 1校(1.0) <sup>(2)</sup>                           |
| 4. 留学生対象の国際カリキュラムのシラバス            | 12校(12.2%) | 84校(85.7%) | 1校(1.0) <sup>(1)</sup><br>1校(1.0) <sup>(2)</sup> |
| 5. 日本人学生と留学生が履修する国際カリキュラムのコースカタログ | 12校(12.2%) | 86校(87.8%) | 0校                                               |
| 6. 日本人学生と留学生が履修する国際カリキュラムのシラバス    | 12校(12.2%) | 85校(86.7%) | 1校(1.0) <sup>(1)</sup>                           |
| 7. 日本語による一般授業科目のコースカタログ           | 19校(19.4%) | 79校(80.6%) | 0校                                               |
| 8. 日本語による一般授業科目のシラバス              | 17校(17.3%) | 78校(79.6%) | 3校(3.1) <sup>(1)</sup>                           |
| 9. 単位制度に関する換算方法と基準についての説明         | 3校(3.1%)   | 95校(96.9%) | 0校                                               |
| 10. 単位の認定に関する方針・基準                | 2校(2.0%)   | 96校(98.0)  | 0校                                               |
| 11. 単位数に準じた学習時間数に関する情報            | 1校(1.0%)   | 97校(99.0%) | 0校                                               |

\* 有効回答数 99 大学(100%)

\*「その他」は、以下の通りである<sup>(1)</sup>部局によって異なる、<sup>(2)</sup>検討中、

\* 表全体のカッコ内のパーセントは、回答をくれた99大学数の内のそれぞれの項目に回答した大学数の割合。

**表35 大学のタイプ(国公立別) x 学位取得目的の留学生への入学案内**

|        |    | 学位取得目的の留学生への入学案内 |            |          | 合計        |
|--------|----|------------------|------------|----------|-----------|
|        |    | 有                | 無          | 学部ごとで異なる |           |
| 大学のタイプ | 国立 | 30 (88.2%)       | 4 (11.8%)  | 0        | 34 (100%) |
|        | 公立 | 2(25%)           | 6(75%)     | 0        | 8(100%)   |
|        | 私立 | 25(44.6%)        | 30 (53.6%) | 1 (1.8%) | 56(100%)  |
| 合計     |    | 57 (58.1%)       | 40 (40.8%) | 1 (1%)   | 98(100%)  |

注) 本文でも同様の表が記載されている

**表36 大学のタイプ x 交換留学生への受け入れの手続きの案内**

|        |    | 交換留学生への受け入れの手続きの案内 |            |          | 合計        |
|--------|----|--------------------|------------|----------|-----------|
|        |    | 有                  | 無          | 学部ごとで異なる |           |
| 大学のタイプ | 国立 | 19 (55.9%)         | 14 (41.2%) | 1 (2.9%) | 34 (100%) |
|        | 公立 | 0 (0%)             | 8 (100%)   | 0 (0%)   | 8 (100%)  |
|        | 私立 | 20 (35.7%)         | 36 (64.3%) | 0 (0%)   | 56 (100%) |
| 合計     |    | 39 (39.8%)         | 58 (59.2%) | 1 (1%)   | 98 (100%) |

注) 本文でも同様の表が記載されている

1 表 1 から 34 までのタイトルに表示してあるカッコ内の (Q+数字) は、その表のデータを抽出した質問項目の番号である。

---

平成 21 年度文部科学省先導的大学改革推進経費による委託研究報告書

**ACTS (ASEAN Credit Transfer System)と各国の単位互換に関する調査研究**

代表                    広島大学 学長 浅原利正  
研究代表者         堀田泰司  
発行日                2010 年 3 月  
発行者                広島大学

---